

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**角間深谷**  
 72  
 東信森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

自然の造形と真田伝説にふれる

〔東信署〕 角間深谷は、長野県上田市の北東部、烏帽子岳（標高二、〇六六メートル）の北山麓にある長さ約四キロメートルにわたる深谷で、千曲川の支流である角間川に沿って切り立った険しい崖や巨岩が続いています。

古い時代からの火山活動と浸食作用によって作られた様々な造形がみられ、「鬼ヶ城」、「獅子の牢」、「天狗の欄干」などと名付けられた奇岩が点在する中に、これらと調和した森林景観が美しいこの一帯を「角間風景林」に指定しています。

また、昭和六十一年に制定された「森林浴の森百選」の一つにも選ばれており、秋には絶壁に立つアカマツに混じって広葉樹の赤や黄色が映える紅葉の名所としても知られています。

角間深谷のある上田市真田地域は、戦国時代、小豪族から戦国大名にまで上り

つめ天下に名を馳せた真田一族の発祥の郷です。一帯には、真田家ゆかりの史跡がいくつも残っており、波乱に満ちた真田一族の歴史と伝説にふれることができます。

真田といえば、大坂夏の陣で散った敗軍の将ながら英雄として後世まで語り継がれる真田幸村（信繁）と、幸村に仕えたとされる「真田十勇士」の物語が有名ですが、ここ角間深谷は、十勇士の一人、猿飛佐助らのモデルとなった真田忍者の修練の場であったとの言い伝えがあり、佐助が修行した場所とされる「猿飛岩」の名も残っています。

真田十勇士の物語は後の時代になって脚色されたものとされていますが、角間深谷は真田の郷の奥深くにひっそりとあって、本当に忍者でも潜んでいそうな幽玄の趣を漂わせています。  
 ※歩道の一部には崩落等のため通行できない箇所や危険な箇所があります。訪れる際には安全を十分に確認した上で行動してください。



猿飛佐助修練の場（？）



千曲川の支流「角間川」

◆アクセス

- 公共機関でお越しの場合  
 JR上田駅から約一五キロメートル、車で約三十分
- 車でお越しの場合  
 上信越道・上田菅平ICから約一〇キロメートル、車で約二十分



紅葉の頃



奇岩の一つ「鬼ヶ城」